

祝！「郷の和」 ボランティア活動功労にて表彰される 第34回栄区社会福祉大会にて

栄区社会福祉大会は、令和4年11月15日、栄区民文化センターにて開催されました。当地区の「郷の和」が永年活動してきた地域の交流の場としてのサロン運営に対して、ボランティア活動功労により顕彰されました。おめでとうございます。

表彰式典の後、「みんないっしょ」と題して、日浦美智江さんより、訪問の家朋が栄区内にできるまでの道のり、多くの方々のつながりがあって現在に至っていることなど福祉の原点を考える感慨深い講演がありました。



令和4年度 よこはまの地区社協全体会

収録日時：令和4年11月14日

～「サロン見守り交流会」の取り組みについて～

上郷東地区社会福祉協議会が事例発表を行いました

開催方法：YouTubeによる動画配信（DVD貸し出しも併用）



今回の発表は、「サロン見守り交流会」の取り組みについて、吉田正臣会長、朝比奈和子サロン部会長、中野久恵事務局長の3名で収録に臨みました。

コロナ禍の中、実態把握のためにアンケート調査を実施し、工夫しながらサロン見守り交流会を開催したこと、サロン間の「交流の機会をつくる」ことが「スタッフ支援」にもつながっていること、ふくしほけんまつりの開催につなげて活動を「見える化」したこと等を発表しました。

おめでとうございます！サロン絆・カフェみどり・むーみんスマイル

令和4年11月4日 横浜市社会福祉大会にてサロン絆が横浜市長よりボランティア活動功労により表彰されました。

同日、カフェみどり・むーみんスマイルも横浜市社会福祉協議会会長感謝を授与されました。



《ご報告》上郷東地区社会福祉協議会役員人事について

井川英生民生委員・児童委員協議会会長が12月1日付をもって副会長を退任されました。永年に亘り地区社協の活動に多大なご尽力に感謝申し上げます。尚、後任として中瀬光子民生委員・児童委員協議会会長が副会長に就任されましたのでご報告いたします。

初めての開催 ふくしほけんまつり

日時:2022年10月23日 会場:野七里地域ケアプラザ

秋晴れの一日、初めてのふくしほけんまつりが開催できました。感染予防に配慮しつつ、地域の方186名、協力者延べ74名の参加がありました。地域の各種団体、ボランティアの皆さま、地域の皆さまのご協力があったこそこの開催であり大成功でした。心より感謝申し上げます。

今回は、上郷東地区で活動している各種団体、健康づくりや居場所・交流づくりのサロン活動団体等26団体がパネル展示や運営の協力に携わりました。

キッズコーナーでは、バルーンアートや魚釣りゲーム、読み聞かせなどハロウィンの親子づれの参加者で会場はいっぱいでした。

各種団体のコーナーでは、展示に熱心に見入る地域の方とクイズの答えを解説する役員さんとの会話等、和やかな光景が見られました。

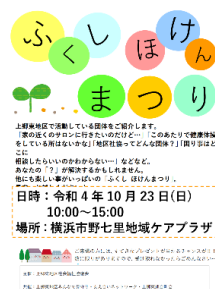


第4期地域福祉保健計画を紹介し、広く知っていただく工夫がありました。

推進母体の役員の方による福祉保健計画の概要図や事前に各町内会・自治会に行ったアンケート結果展示など身近な暮らしの中で住みよい地域を考えるヒントがありました。



民生委員・児童委員のコーナーでは各地区委員の紹介がありました。民生委員・児童委員は各町会自治会の推薦を受けて活動しています。高齢化が進む地域課題や子育て支援のお手伝いなど身近な地域の相談役としてケアプラザ等と連携して活動しています。



健康測定・ボッチャ体験コーナーでは、保健活動推進員や健康づくりサロンやシニアクラブの役員が運営に当たりました。自分の健康度を知るうえで健康測定



は人気でした。また、大人も子どももボッチャ体験をしながら交流しました。

サロン展示コーナーでは、展示とコーヒーコーナーを設けゆったりとした中で各団体の様子が一目でわかる展示は地域内の情報交換にとっても有益でした。「お久しぶりね！」という会話もあり、交流があちこちで見られました。

今回、タクシー会社と地元企業にご協力いただき送迎サービスを行いました。坂が多い地域であり、高齢者にとっては、送迎サービスは大変好評でした。



参加者から「一言感想」を書いていただき廊下に掲示しました。
* 手作り感がいっぱい楽しめました、すてきな会でした。

* 介護保険の相談ができて良かったです。

* 各地区多彩な活動に驚きました。イベントの多さは地域の活性化に重要と感じました。

ご参加くださった皆さん、展示にご協力いただいた各種団体・サロン運営等の団体の皆さん、ご協力ありがとうございました。



赤い羽根共同募金活動を行いました

10月3日、のあインターナショナルスクールの生徒さんと吉田会長がたまや前で赤い羽根共同募金を呼びかけました。



令和4年度 上郷東地区『サロン見守り交流会』開催

～コロナ禍におけるサロン活動の進め方～

◎昨年の見守り交流会に引き続き、今年度も『サロン見守り交流会』を開催しました。
長引くコロナ禍で各地域のサロン開催が難しい中、関係者が悩みや課題、現在の状況などについて実りのある意見交換を行いました。

◎令和4年度 上郷東地区 サロン見守り交流会

＊日 時：令和4年7月10日

＊場 所：野七里地域ケアプラザ

＊内 容：コロナ禍におけるサロン活動の進め方

・サロン運営について課題を共有し、開催に向けて取り組んでいく機会とする。

・それぞれの団体の工夫や悩みを話し合い、一歩前に進む機会にしていける。

＊参加団体：11団体

びわの会、むーみんスマイル、カフェあおば、サロン絆、カフェみどり、花水木、郷の和、コスモス会、カトレア会、ひよこカフェ、すくすく



★今回の交流会で出席者が本音で意見交換が出来るよう実施した3つの工夫★

- ① 各団体からの参加者を代表者に限らず、2名までにしたこと。
- ② 充実した話し合いが出来るよう4グループに分け、1グループの参加者を6人までとし、話し合いの時間を以前より長く90分に設定したこと。
- ③ グループで意見交換をした後の各グループよりの報告を省き、議事録の提出にしたこと。



★「交流会」終了後の参加者の感想と意見★

＊「話せて良かった、楽しかった」という感想や「コロナ禍でも前向きになれた」という意見が多数出ました。そして、「参加者を増やすためには何よりもスタッフを楽しまないとね！！」という声も寄せられました。

＊今回は1グループを6人まで、そして意見交換の時間を90分に設定したためサロン活動における悩みや疑問、又コロナ禍で取り組んでいる充実した活動について「こんな良いことやっていますよ！」のような様々な内容を時間をかけてざっくばらんに話すことが出来、中身の濃い楽しい話し合いの場となりました。

また、活動の意味や目的を再確認できる良い機会となり、今後の『サロン見守り交流会』に繋がる有意義な交流会となりました。



親子で学ぶ性教育講座 報告 ～おとなの声掛けが子どもを守る～

令和4年11月27日、庄戸小学校体育館において、1～3年の小学生を対象とした性教育講座を開催しました。徳永桂子さんのお話を37名のおとなと子どもが受講しました。子ども講座では、一番身近な自分のからだの名前を知ることを通して自分のからだは自分のものということ学び取っていきます。おとな講座では、子どもの自尊感情を高めるためにおとなが心がけたいこと、心地よい触れ合い体験の大切さ、今日の学びを明るく繰り返し伝えていくこと、それらのことが(何かあった時)子どもが相談できる関係作りにつながっていくこと等、暮らしの中での性教育のヒントをたくさんいただけたひと時でした。

